

2019 年度秋田大学医学部医学科授業計画

分 類	臨床医学 IV	対象学年	4 年次 必修	時間割コード	71643002-26
授 業 科 目 名	薬剤学 臨床実習 - 薬物治療 -				
主 任 教 員	三浦昌朋（教授、薬剤部）6310				
担 当 教 員	三浦昌朋（教授、薬剤部）6310 赤嶺由美子（講師、薬剤部）6462				
授業の概要 及び 一般目標 (GIO)	<p>1. 一般目標 (GIO)</p> <p>薬剤部が行っている業務全般を理解すると共に、チーム医療の一員としての医師のあり方を身につける。</p> <p>2. 到達目標 (SBOs)</p> <p>1) 処方箋交付から調剤までの流れおよび調剤過誤防止対策を説明できる。 2) 注射薬処方箋交付から個人別注射セットおよび監査時の注意点を説明できる。 3) 注射抗がん剤処方のレジメン管理におけるメリットとデメリットを説明できる。 4) 麻薬・向精神薬の管理方法を説明できる。 5) 高カロリー輸液の調製に必要な知識と技術および院内製剤の必要性について説明できる。</p> <p>本科目は実務経験のある教員による授業科目です。</p>				
教科書・参考書	なし				
成績評価の方法	出席状況、レポート提出				
その他・ メッセージ等					

薬剤学 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第 1 回 月曜日 [] 副題 担当	
第 2 回 火曜日 [] 副題 担当	
第 3 回 水曜日 [] 副題 担当	
第 4 回 木曜日 [] 副題 担当	
第 5 回 金曜日 [8:30-14:00] 副題 薬剤部臨床実習 集合場所：薬剤部部員室 担当 三浦昌朋・赤嶺由美子	<p>1. 調剤業務の実践 処方オーダーリングシステム、散剤、錠剤、カプセル剤、外用剤の調剤を経験し、調剤におけるリスクマネジメントを具体的に学習する。</p> <p>2. 薬品管理と注射薬調剤業務の実際 薬品の受け払い経路、発注システム、採用と削除、血液製剤管理簿の作成と保管、抗がん剤レジメンの運用方法および注射個人別セットの実際を学ぶ。</p> <p>3. 麻薬管理業務の実際 麻薬および向精神薬取締法のもと、麻薬・向精神薬の調剤、その記録、麻薬の廃棄方法、麻薬の事故届けがどのように行われているかを学習する。</p> <p>4. 製剤・高カロリー輸液調製業務の実際 各種滅菌法、院内製剤の種類とその意義、高カロリー輸液の調製法を実習し、体得する。</p>